

We ♥ 3年！

上越市立板倉中学校
3学年だより
第5号 6月7日

3年生 最高！



一段と成長した3年生

今年の大イベントとなる体育祭が、5月31日に終わりました。前日の晴天から一転、朝方から小雨が降り始め、開催が危ぶまれましたが、生徒たちの熱意が伝わったのか、競技は全てグラウンドででき、この日に行えて本当によかったです。

急遽開会式が体育館で行うことになっても、小雨の中、グラウンドに椅子を運ぶことになっても、生徒たちは不平や不満を言うことなく、体育祭ができる喜びがあふれていました。まだ雨が降っていた中で競技を始めましたが、頭にタオルをかけてでもテント前から応援する姿、泥で体操着が汚れるのもいとわず引張り合った3学年種目



2人の声を合わせ、堂々と述べた団長の選手宣誓

での姿には、この体育祭にかける強い意気込みを感じました。また、休憩後のパネル紹介で、両軍パネルリーダーの「おはようございます！」の大きな声に続く、見ただけでは分からない細部への丁寧な説明で、一段とパネルを見る目が変わりました。

一方、給食時は、いつもはたくさん食べる生徒たちが軒並み「食べられない」と言い、いかに午前の部が激しかったかを物語っていました。それでも、ほとんど昼休みもないまま、グラウンドに飛び出していく姿に、頼もしさとともに、体力がもつか…という心配な気持ちが交錯しました。しかし、午後のスタートだった応援合戦を見て、心配はすぐに吹き飛びました。応援合戦が始まる前の、各軍全員による円陣、そして1・2年生も含めた全員の一糸乱れぬ動きと、あらん限りを出し切る声と太鼓の音は、見ている人たちの魂を揺さぶったことと思います。

閉会式では各賞に勝ち負けが付き、その瞬間、勝者は歓喜の雄叫びをあげ、敗者は茫然とうつむく姿が見られました。喜びも悲しみも含めたこの感情は、長い時間ずっと仲間とともに準備を進めてきた人が感じる、特別なものです。この感情を共有できる仲間がいて、仲間との絆が深まったり、心が成長したりします。この体育祭で、まさしくその貴重な経験を味わった3年生には、今後の学校生活はもちろん、来週から始まる地区大会にも生かしてくれることを期

待しています。

天候不順な中でしたが、大勢の保護者や御家族の皆様においでいただきましたことに、心から感謝致します。

なお、体育祭当日の終学活で行った振り返りの中から、「体育祭を通して学んだものや感想」を抜粋して記しました。併せてお読みください。

- ・みんなで1つのことに取り組むことが、本当に達成感につながりました。応援、総合で勝てなくて、もちろん悲しかったけど、その315倍楽しく思えました。
- ・私は体育祭を通して団結力を学びました。応援の時も競技の時も男女関係なく、お互いと応援し合っ、困っている人がいたら真っ先に助け合っ、みんなで仲良く写真をいっぱい撮れて本当に楽しかったです。
- ・私が得たものは、練習を生かして頑張るだけでなく、笑顔で楽しくやるということです。笑顔で楽しむと、まわりも自然に笑顔になるので、大切だと思いました。
- ・私は男女で関わるのは苦手ですが、今年最後の体育祭では、互いに協力することによっていつも協力して得られるものと、また違うよさを得ることができました。
- ・きつかったことも楽しくなるんだということが知れました。
- ・仲間と力を合わせることは楽しいことだと新たに実感しました。優勝できなくても、今まで頑張ってきたことを出し切れると、とても良い気分になると分かりました。
- ・この体育祭を通して、仲間と協力して何かを作り上げることの素晴らしさ、そして最後の体育祭をこの学年、クラスのみなが全てのことに全力になって取り組み、最後まで戦い抜けたことがとても良かったです。各軍団長を中心に、当日までたくさん意見を言い合い、いい形で体育祭を終えることができ、「思い出に残る体育祭になりました。
- ・みんなで1つの目標に向かって協力し合い、ゴールに向けて進み続けることの大切さや楽しさを感じられました。最後の体育祭は大青紅で終われて良かったです。





学年リレー スタートの瞬間

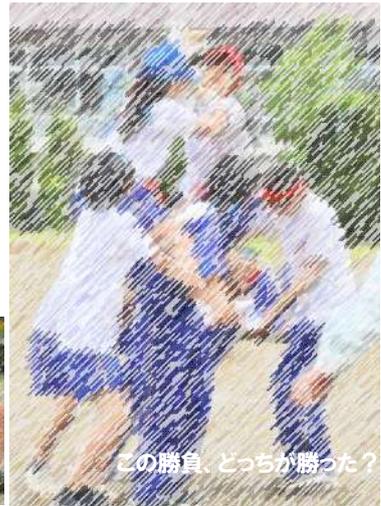


「あとをお願い！」

「任せろ！」
(学年リレー)



両軍とも担任も一緒に戦った綱引き



この勝負、どっちが勝った？



「もう少しで取れる！」

「逃げるが勝ちさ！」



両軍とも応援リーダー達のリーダーシップが抜群でした



メンバー全員がぴったりそろった応援合戦





この後の抱擁シーンは目に焼き付いています



この笑顔、最高！



総合優勝が決まった瞬間の青軍



軍選抜リレーは紅軍の1・2フィニッシュ！



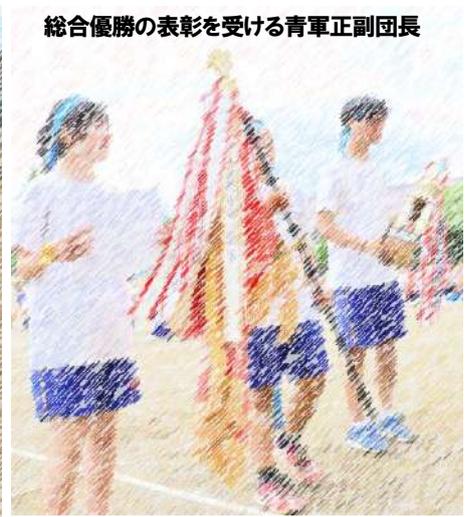
見よ！このドヤ顔



競技部門1位が決まった瞬間の紅軍



全てが終わった後の清々しい表情の両軍



総合優勝の表彰を受ける青軍正副団長



互いの健闘を喜び合って...